

# 「当院における周辺臓器が合併切除を伴う進行胃がん (pT4b) の治療成績」 について

加古川中央市民病院 消化器外科では、現在、胃癌の治療を受けられた患者さんを対象に表題の研究を実施しております。その詳細は下記をご覧ください。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

進行した胃がんでは、がんを取り切るために体への負担が大きい手術が必要になることがあります。手術後に再発することも少なくありません。そのため、どのような患者さんにどの治療が適しているのかは、まだ十分に分かっていません。

この研究の目的は、当院で胃がんの手術を受け、周囲の臓器も一緒に切除する必要があった進行胃がん (pT4b) の患者さんについて、これまでの治療結果を振り返って調べることです。患者さんの年齢や体力、手術の内容、手術後の合併症、がんの再発や生存の期間などを確認します。すなわち、実際の治療成績結果をもとに、手術の効果や注意すべき点を明らかにします。

## 【研究期間】

この研究は、病院長承認日～ 2027年12月31日まで行う予定です。

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2017年1月1日～2024年12月31日までの期間に加古川中央市民病院消化器外科で胃癌の治療を受けられた方々の下記情報を診療録より取得いたします。

- ① 基本情報：年齢、性別
- ② 疾患情報：臨床診断、進行度、手術情報、浸潤臓器の詳細、RO 切除率、術後合併症、術後在院日数、再発時期、生存

## 【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象患者識別番号リストを作成して、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

## 【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 消化器外科 責任者氏名：西村 透

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

#### **[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]**

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または研究参加の同意取りやめの申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

#### **[研究成果の公表について]**

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

#### **[研究へのデータ使用の取りやめについて]**

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。研究参加の取りやめの申し出を受けた場合、それ以降には患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消された時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合は廃棄できませんのでご了承ください。

#### **[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 消化器外科

研究責任者名 西村 透

連絡先：079-451-5500